

# 下福新聞

## 目標に向かうとは

2026年がスタートしました。

今年は、60年に一度の「丙午」。「丙午」に関する伝承事は様々ですが、勢いのある年、挑戦や目標達成に追い風がふく年とされています。新年の幕開けを知らせる、ニューイヤー駅伝、箱根駅伝での大会新記録樹立優勝は、勢いのある年の象徴の一つではないでしょうか。華やかに年明けした雰囲気のまま、一年間素敵な年になることを願っています。

駅伝といえば、箱根駅伝で17位から9位まで順位を押し上げたチームがあったと報道されていました。そのニュースを見たとき、優勝や入賞という結果ではないにもかかわらず、とても感動しました。それと同時に、私ならあきらめてしまうかもしれないし、その順位になったことを何かのせいにしてしまうかもしれないと思いました。

後日、そのチームの一人の言葉が紹介されていました。「箱根駅伝は大きな舞台ですが、当日が勝負なのではありません。一年かけて、走る直前まで、自分がどれだけ努力したか、そして一緒に練習してきた仲間をどれだけ信じていることができるかで勝敗がつくと自分は思っています。そのために、毎日、やらなければいけないことを一つ一つやるんです。大変な時もありますけど、それが箱根駅伝で結果を残すという目標に向かうことだと思っています。」この言葉を聞いて、身の引き締まる思いがしました。年の初めに目標は立てるものの、年の瀬には自分の立てた目標を覚えていただろうか、そして、目標を達成するために毎日取り組んだことがあったらどうか、年明け早々、思い返すと恥ずかしくなりました。

今年こそは、目標に向かって、努力したいと思います。

私の目標は下福田小学校のみんなが笑顔になることです。そのために、毎日、あいさつをしたいと思います。まずは、新年のあいさつから

**「おはようございます。今年もよろしくお祈いします！」**



新幹線と富士山が  
見える学校